

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成31年1月21日)

- | | | | |
|---|---------------------------|---------|-----|
| 1 | 外国人総合相談センター（仮称）の設置について | 交流推進課 | P 1 |
| 2 | 「怪フォーラム2019 in 京都」の開催について | まんが王国官房 | P 3 |
| 3 | 「四十七大戦」首都圏会議の開催について | まんが王国官房 | P 4 |
| 4 | 「生誕97年水木しげる生誕祭」の開催について | まんが王国官房 | P 5 |

観光交流局

外国人総合相談センター（仮称）の設置について

平成31年1月21日
交流推進課

平成30年12月に成立した出入国管理及び難民認定法改正を受け、地方公共団体による「多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮称）」設置支援を柱とする「外国人材受入れ・共生のための総合的対応策（以下、「総合的対応策」という。）」が決定されました。

本県においても今後、増加する在住外国人への対応に向けて新たな外国人総合相談体制を構築する方向で検討を進めており、その状況について報告します。

1 経緯

○平成30年12月25日に特定技能の在留資格に係る「基本方針」及び「分野別の方針」が閣議決定されるとともに、関係関係会議において「総合的対応策」が了承された。

○「総合的対応策」には、外国人材の適正・円滑な受入の促進に向けた取組とともに、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を推進する126施策が盛り込まれている。

→行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的窓口「多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮称）」（全国約100か所）の整備に係る地方公共団体への支援制度（外国人受入環境整備交付金（法務省））の創設が柱の一つとなっている。

2 外国人受入環境整備交付金（法務省）の概要

- (1) 目的：在住外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、情報提供・相談を行う一元的相談窓口の整備に取り組む地方自治体を支援。
- (2) 交付先：都道府県、政令指定都市及び外国人が集住する市町村〔全国100か所〕
- (3) 対象経費：〔整備費〕新たな一元的相談窓口の体制の構築又は体制拡充に必要な経費
〔運営費〕一元的相談窓口体制の維持・運営に必要な経費
- (4) 交付額：〔整備費〕必要経費の全額（限度額1,000万円）※平成30年度2次補正
〔運営費〕必要経費の1/2（限度額1,000万円）※平成31年度当初

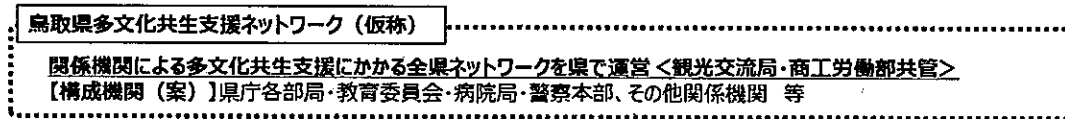
3 本県外国人総合相談体制の方向性（案）

○県内の関係機関で構成する多文化共生のプラットフォーム『多文化共生支援ネットワーク（仮称）』を立ち上げ、外国人雇用や在住外国人に対する多様な相談への対応を関係機関が連携して担う体制を構築する。

○平成31年4月には一元的な多文化共生総合相談ワンストップセンターとして『外国人総合相談センター（仮称）』を公益財団法人鳥取県国際交流財団に設置する方向で検討する。（東部・中部・西部の3か所）

○センターでは、外国人からの様々な生活に係る相談（在留手続、医療、教育等）に対応するほか、各機関（入国管理局、労働局、教育機関、福祉機関、市町村、地域コミュニティ等）との連携も強化する。

【外国人総合相談体制（イメージ）】



多様な相談・対応

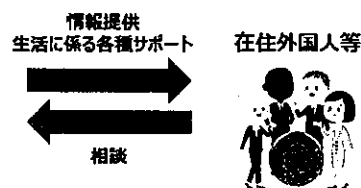
【ワンストップ窓口】 ※（公財）鳥取県国際交流財団に置き、体制を充実させることを想定

外国人総合相談センター（仮称）

- 業務内容
 - ・在留外国人の生活に係る相談対応、各機関との連携
 - ・多文化共生・日本語教育に係る全体調整等
- 東部・中部・西部の3か所
- 県との一体化に取り組むための職員配置を予定

※外国人受入環境整備交付金（法務省）を活用

- ・ハード整備（最大1,000万円（10/10））
- ・運営費（最大1,000万円（1/2））



【検討事項】

- ・他機関との連携手法
- ・相談対応の手法、相談対応の深度 等

【参考】本県の在住外国人の状況

＜在留資格別外国人住民数（平成 29 年 12 月 31 日現在）＞ (単位：人)

総数	①専門的・技術的分野の在留資格		②技能 実習	③留学・家 族滞在等	④身分に基づく在留資格		その他	
	総数	うち技術・人文知 識・国際業務			永住者	特別永住者		
4,329	320	128	1,386	459	2,163	967	850	1

＜地域別外国人住民数（平成 29 年 12 月 31 日現在）＞ (単位：人)

地域	総数	韓国・ 朝鮮	中国	ベトナム	タイ	インド ネシア	フィリピン	台湾	カンボ ジア	ミャンマ	その他 アジア	欧米・ オセアニア	中東・ アフリカ	中南米 等
全県	4,329	1,014	1,021	818	91	137	559	51	50	69	144	261	71	43
東部	1,603	313	516	241	29	49	155	32	16	5	69	100	65	13
中部	691	118	171	164	2	6	124	13	0	0	22	61	3	7
西部	2,035	583	334	413	60	82	280	6	34	64	53	100	3	23

＜改正入管法で新たに創設された在留資格＞

区分	要件等	受入業種・人数
特定技能 1号	<p>○一定の技能水準、日本語能力が要件（技能実習2号（3年経験）修了者は試験免除）</p> <p>[技能水準] 受入分野で即戦力として活動するために必要な技能、知識を有すること（所管官庁が試験実施）</p> <p>[日本語] ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することを基本（業務分野ごとに試験）</p> <p>※日本語能力試験 N4 以上の取得者は、新設される日本語試験を免除</p> <p>[その他] 家族帯同を認めない。通算5年を上限。同分野での転職可能。</p> <p>※平成31年4月から技能試験を実施するのは、「介護」「宿泊」「外食」の3業種のみ</p>	<p>[業種] 14業種</p> <p>[人数] 最大345,150人（5年間）</p> <p>[雇用] 直接雇用（農業・漁業は派遣も可）</p> <p>[送出国] 9か国（ベトナム、中国、フィリピン、インドネシア、タイ、ミャンマー、カンボジア、ネパール、モンゴル）</p>
特定技能 2号	<p>[技能水準] 熟練した技能を有すること（特定技能1号から試験を受けて移行可能）</p> <p>[その他] 家族帯同可能、在留資格の更新可能</p> <p>※日本語レベルについては規定なし</p>	<p>・制度開始から2年後に「建設」「造船・船用」の2業種で本格導入する方針（他業種の受入時期は未定）</p>

「怪フォーラム2019 in 京都」の開催について

平成31年1月21日
まんが王国官房

妖怪文化を通して地域の魅力を発信するため、怪遺産を有する鳥取、岩手、徳島の3県で「怪フォーラム2019 in 京都」を開催します。

各県持ち回り開催が2巡したことを受け、今年度は世界に向けて“妖怪先進県”の取組を発信しようと、京都市で開催することとしたものです。

- 1 日時 平成31年1月26日（土）、27日（日）
- 2 会場 京都国際マンガミュージアム
(京都府京都市中京区烏丸通御池上ル 元龍池小学校)
- 3 主催 鳥取県・岩手県・徳島県(怪フォーラム実行委員会)
共催 京都国際マンガミュージアム
企画協力 株式会社 KADOKAWA



4 概要

【26日】

○妖怪大談義：3県知事が、作家の荒俣宏氏や京極夏彦氏、民俗学者の小松和彦氏と各地の妖怪文化について語り合うトークイベント

○お化け大大学特別講座：京極氏ら「お化け大大学」講師陣による妖怪トークイベント

【27日】

○節分おぼけ仮装百鬼夜行

事前に申し込んだ一般参加者が妖怪に仮装し、京都国際マンガミュージアムから二条城までの約800メートルを練り歩く。また、3県のキャラクターも参加する。(鳥取県：カニ取団)

【26日、27日両日】

○実演

【鳥取県】・水木しげる氏描き下ろしの紙芝居「鬼太郎対カラス天狗」の上演

・アニメ「ゲゲゲの鬼太郎(第6期)」第17話「蟹坊主と古の謎」の上映

【岩手県】・語り部による遠野の昔話の実演

【徳島県】・山城、大歩危妖怪村による人形劇と妖怪紙芝居の上演

○特産品のふるまい

【鳥取県】カニ汁 【岩手県】ひつつみ 【徳島県】そば米ミネストローネ

5 その他

昨年12月13日から、イベントの告知を兼ねた3県紹介の特大パネルを京都国際マンガミュージアムに展示中である。

【参考】怪遺産とは

「世界妖怪協会」(水木しげる永久会長)が、妖怪文化の普及に貢献した自然、文化、地域などを対象に認定している。これまでに、境港市(2007年)、徳島県三好市(2008年)、岩手県遠野市(2010年)の3地域が認定された。

「^{しじゅうしちたいせん}四十七大戦」首都圏会議」の開催について

平成31年1月21日

まんが王国官房

全国47都道府県を擬人化したWEB漫画「^{しじゅうしちたいせん}四十七大戦」の公式ファンイベント「「四十七大戦」首都圏会議」が開催されます。

この漫画は鳥取県が主人公であることから、本県は連載開始当時から同作品と連携してきましたが、このイベントでも連携し、鳥取県をPRします。

<「^{しじゅうしちたいせん}四十七大戦」首都圏会議」の概要>

- 1 日時 平成31年2月3日(日)午後1時から2時30分まで(午後0時30分開場)
- 2 会場 東京都港区新橋4丁目1番1号 新虎通りCORE5階
(株)クリーク・アンド・リバー社 イベントホール
- 3 内容 漫画「^{しじゅうしちたいせん}四十七大戦」の熱烈なファンが集う公式ファンイベント
 - オープニング映像・トーク
 - 声優による朗読劇「鳥取県VS鳥根県」
 - 作者の一二三(ひふみ)さんによるライブドローイング
 - 関連グッズがもらえるプレゼントコーナー
 - 「鳥取の名産品を食べよう」のコーナー
- 4 主催 (株)クリーク・アンド・リバー社
- 5 その他 チケット300枚は完売済み



※S席：6,000円、A席3,000円、B席：1,500円

<PRの概要>

- ・イベント後半に設定される「鳥取の名産品を食べよう」のコーナー(約10分)で、作品にも登場する鳥取県の食を会場のファンに提供するなど、本県をPRする。

<漫画「^{しじゅうしちたいせん}四十七大戦」の概要>

- ・主人公である鳥取県をはじめとした47都道府県の「ゆる神」が次の首都になるために戦う首都争奪戦を描いた作品であり、平成28年9月7日から「コミック アース・スター」(アース・スターエンターテイメント)で連載されているWEB漫画。なお、作者の一二三(ひふみ)さんは鳥取県出身ではない。
- ・各キャラクターが方言で話し、名産品、県民性が紹介されるなど、各都道府県の個性を盛り込んでいるほか、社会問題など現実世界ともリンクした点も描かれている。
- ・平成30年夏に行われた「WEBマンガ総選挙2018」で1位を獲得。現在、単行本5巻まで発行されている。

「生誕97年水木しげる生誕祭」の開催について

平成31年1月21日

まんが王国官房

水木しげる先生のふるさとへの功績に感謝し、誕生月である3月に人間と妖怪と一緒に先生の生誕をお祝いする「生誕97年・水木しげる生誕祭」を開催します。

会場を、これまでの境港市文化ホール（約400人収容）から米子市公会堂（約1,100人収容）に変更し、規模を拡大して水木先生の生誕を祝います。

なお、12月17日（月）から1月31日（木）まで、当該イベントへの参加者を募集しています。



<生誕97年水木しげる生誕祭の概要>

- 日時 平成31年3月9日（土）
午後2時30分から4時30分まで（午後1時30分開場）
- 会場 米子市公会堂（米子市角盤町2丁目61番地）
- 概要 水木しげる先生の生誕97年を参加者らとともに祝います。
 - オープニング
 - 坂本頼光活弁 水木しげるの人生絵巻（活動弁士 坂本頼光さん）
 - スペシャルトークショー〜ゲゲゲ談義2019〜
ゲスト：野沢 雅子さん（目玉おやじ役）、古川 登志夫さん（ねずみ男役）
庄司 宇芽香さん（ねこ娘役）、藤井 ゆきよさん（犬山まな役）
 - 豪華賞品が当たる抽選大会
 - エンディング
- 入場料 無料
- 特典 参加者は事前申込者の中から抽選により決定し、当選者には特製招待状を送付する。
妖怪仮装の参加者には限定記念品「生誕97年記念グラスタンブラー」を贈呈する。
- その他 当日、水木しげるロードでは境港市主催の妖怪仮装大行進（午後6時30分から午後7時まで）を開催する。

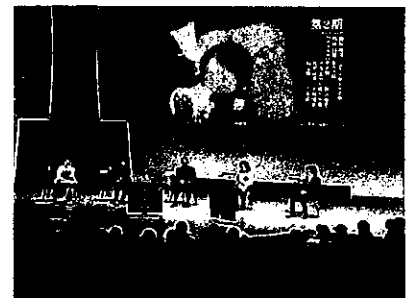
<昨年度の様子>



境港駅前公園でのオープニングセレモニー



パースデーケーキセレモニー



スペシャルトーク〜ゲゲゲ談義2018〜

